

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

1. (仮称) 倉敷ファッションセンター棟の構成

(仮称) 倉敷ファッションセンター棟においては、主に以下の諸室を想定し、計画すること。

分類	設置階	主要諸室	
ファッションセンター	1階	ファッションセンター	・事務室、応接室、ファッションギャラリー、コワーキングスペース、倉庫等
		繊維技術センター	・機械室、繊維資材室、繊維物性室（恒温恒湿室）、機器分析室、染色化学室等
短期大学	3階	特別教室等	・実験用倉庫、図工室（大）、図工室（中）、撮影室、暗室、コンピュータ室（小）、研究室×2、倉庫等
	4階	特別教室等	・音楽室、ピアノ練習室、部室・学生会室、教員用研究室×3、倉庫等
憩の家	2階	憩の家	・大多目的室、多目的室×2、湯沸室、倉庫
共用部	1階	エントランス・ホール	・エントランスホール、風除室、エレベータホール
		その他	・トイレ、LPG置場、ごみ置場等
	2階	多目的エリア	・中多目的室
		その他	・EVホール、トイレ、電気室、空調機室等
	3階	その他	・EVホール、トイレ、空調機室等
	4階	その他	・EVホール、トイレ、空調機室等
	5階	その他	・エレベータ機械室等

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

2. (仮称) 倉敷ファッションセンター棟の複合化等改修

(仮称) 倉敷ファッションセンター棟の複合化改修等の内容は、次のとおりである。なお、荷重の変化や躯体の解体・撤去に伴う耐力の減少について、安全性を確認し、必要に応じて対応策を計画すること。また、設備の改修においては、十分な現場調査を実施し、施設機能の継続性に影響がないように施工すること。

■改修工事	
(仮称) 倉敷ファッションセンター棟への複合化に伴う改修	
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・複合化を目的として、2から4階までの諸室を廃し、新たに2階へ憩の家機能、3・4階へ短期大学機能を整備、複合化改修を行うこと。また、学生・高齢者等利用者の構成比率を考慮して、多目的便所の設置や便器数等を検討し、計画すること。1階についても、一部の室に対して長寿命化及び利便性の向上を目的とした改修工事を行う。なお、平面構成の検討材料として【別添資料 14】モデルプラン（(仮称) 倉敷ファッションセンター棟）を提供する。 ・将来的な学生数の変動、教育内容の変化、学科改編、什器・備品の変更や用途変更等への柔軟な対応が可能な計画とすること。 ・各施設の休閉館時に他の施設の利用に不便が生じない計画とすること。 ・諸室の配置及び面積については、諸室要求水準及び「別表03」を基準とし、使用目的や機能に応じた最適な計画とすること。 ・それぞれの施設の利用時の音や振動が、他の施設に大きな影響を及ぼさない計画とすること。外部への音の漏れだしにも適切に配慮すること。 ・内装材、外装材、建具等について、耐久性が高く、調達が容易な汎用品の採用に努めること。 ・内装仕上材は、諸室の用途、利用内容や形態など各室の特性に配慮したものとする。 ・壁・床の仕上げ材の選定では授業内容に鑑み、耐水性、耐薬品性、耐熱性、耐摩耗性、防汚性に配慮して選定すること。 ・仕上材は、長寿命で耐久性に優れ、かつ、清掃・補修等がしやすいなど維持管理が容易なものを選定すること。 ・移動間仕切りは収納が容易であり、かつ、防音性も優れたものとする。 ・施設利用者が利用する場所に用いるガラスは原則、強化ガラスとすること。 ・木質化に努め、岡山県産材を積極的に使用すること。 ・外部に面する窓には原則、網戸を設けること。 ・窓に設けるカーテン、ブラインド等は別表による。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕時及び解体時に環境汚染を引き起こさない内外装材を選定すること。 ・各室の用途・機能に応じて断熱、吸音、遮音材を十分検討して採用すること。 ・使用する材料（建築資材等）は、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質の削減に配慮したものとする。諸室の揮発性有機化合物の室内濃度は、厚生労働省及び文部科学省が定める指針値以下とする。 ・施設の出入口、重要諸室（事務室、中央監視室等）、開放エリアといったセキュリティの設定を行った上で区画を明確にした計画とすること。 ・視認性の確保や死角をなくすことに配慮し、施設利用者の安全に配慮した施設とすること。 ・改修に当たっては、耐震性を現行基準以上（現行重要度係数 $I=1.0$）とする方針（岡山県建築物耐震対策等基本方針）に基づき、許容できる荷重で計画すること。 ・室内の機器や備品等は地震の振動により転倒しないよう適切に設置すること。 ・既存不適格調書を作成すること。 ・避難誘導のためのサインを適切に計画すること。 ・計画上必要とする箇所にカード認証等による開錠システムを設置すること。詳細は入退室管理設備の項による。 ・カメラ設備については、「防犯カメラ設備」の項による。 ・不審者対策を講じること。 ・施錠が必要となる施設設備は、本市が今後決定する維持管理・運営方針に基づく施錠計画とすること。 ・ユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れ、全ての利用者が円滑かつ快適に利用できる施設を実現すること。 ・「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策の総合的かつ一体的な推進に関する法律」や「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、「都市公園の移動円滑化ガイドライン」等を遵守し、「建築物移動等円滑化誘導基準」への適合を目指すこと。 ・省エネ基準の定めはないが、「倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針」に定める基本方針に従った省エネ性能が望ましい。B E I の算定を行い、現行の省エネ基準値を下回るよう努めるが、下回らない場合、適法であれば問題ない。 ・再生可能エネルギー（太陽光発電設備）の導入については、倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づいて最大限の導入に努めること。 ・倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針に基づくゼロカーボン技術項目の導入に努めること。 ・設備更新や維持管理を容易に行うことができるよう配慮すること。 ・配管設備の更新に合わせてP S ・E P S の改修を行うこ
--	--

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<p>と。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記に伴う建築・電気設備・機械設備改修とする。 ・主要な設備として、受変電設備、発電設備、電力貯蔵設備、幹線設備、電灯コンセント設備、構内情報通信設備、電話設備、拡声設備、防災設備、中央監視設備、防犯カメラ設備、空調換気設備、給排水衛生設備、給湯設備、ガス設備、消火設備、排煙設備等の改修を行うこと。 ・建築改修工事範囲外や要求水準に記載のない電気設備・機械設備については原則として本事業の対象外とする。ただし、改修工事に伴い、改修範囲外に影響する場合は対応すること。
設備全般	<ul style="list-style-type: none"> ・設備方式、機器選定、各設備配管配線、施工にあたっては、耐久性、信頼性、耐震性、維持管理性、省エネルギー性、安全性、環境性に配慮すること。 ・電気・空調等は、各エリア・室等の使い勝手を考慮し、個別制御・集中管理を適切に設定すること。 ・更新及びメンテナンスを考慮し、各設備室や設備シャフト内には、更新用の予備スペースや将来対応の空配管等を設置すること。 ・倉庫や研究・実験等を行う諸室は、将来の変化にも対応できるよう配慮した設備等の計画とし、転用を見据えた適切な機器設置、配管スペースも見込んでおくこととする。 ・各設備機器は用途等に応じて、リスク分散、冗長性に配慮し選定すること。故障時にも速やかに修理対応が可能なものとし、交換・保守部品が、容易に入手可能なものとする。 ・各設備機器及び設置場所は、修繕、更新時などの搬入出経路（昇降機設備が利用できない場合の揚重機械等の設置スペース含む）の確保等、維持管理の容易性に配慮すること。 ・ライフサイクルコストの低減に配慮すること。 ・地震、津波、洪水、強風、雷等の自然災害に対する被害防止対策を講じること。 ・各設備機器を屋外設置する場合は周辺環境に十分に配慮し、計画すること。 ・建築設備設計・施工指針 最新版に基づきダクト・配管等は耐震化を行い、地盤の変位にも対応した設計とするとともに、設備機器の転倒防止・落下防止対策を万全に行うこと。 ・インバーター機器は、市立短期大学（本校舎）及び周辺施設に対し影響を与えないよう必要に応じて高調波低減対策を施すこと。 ・諸室環境に応じた適切な計画を行い結露防止や防カビ対策を行うこと。 ・屋外に設置する各機器は適切な塩害対策を行い、機器の長

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<p>寿命化を図ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理区分ごとの光熱水費が明確となるように子メーター等を適切に設置すること。 ・既設建築と公園の景観等に配慮した計画（配管ルート、配色等）とすること。 ・不要な機器、ダクト、配管、配線等は撤去し、末端処理を適切に行うこと。
電気設備	
受変電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備の更新を行うこと。 ・改修に伴う負荷設備の変更を考慮すること。 ・変圧器容量は、将来的な増加分を見込むこと。 ・変圧器は超高効率のアモルファストランスとすること。 ・電源設備は通信、情報、音響等に対し、高調波やノイズ等の影響を及ぼさないこと。 ・各系統の電気使用量が計測可能なものとすること。
発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・発電設備の更新を行うこと。 ・非常時負荷や防災負荷は、改修負荷の変更を考慮すること。 ・周囲への振動騒音を考慮すること。
太陽光発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根、屋上に光熱費削減効果、外観、維持管理、構造など、可能な限り太陽光発電設備の有効活用を考慮し設置すること。尚、下限値は特に定めないものとする。 ・商用電源との系統連系とし、停電時は自立運転が可能で、必要な負荷に供給するものとする。 ・電力監視設備で運転状況、状態監視等が監視、制御、モニター表示ができるよう配慮すること。また、太陽光発電設備の電力、電力量なども計測、計量が可能なものとする。 ・構造的に問題がある場合は非設置とすること。
電力貯蔵設備	<ul style="list-style-type: none"> ・電力貯蔵設備の負荷設備を見直し更新すること。 ・直流電源装置は長寿命型とすること。
幹線設備	<ul style="list-style-type: none"> ・負荷容量の見直しに伴い、必要箇所に適切な幹線を敷設すること。
電灯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲の分電盤は、負荷容量を見直し更新すること。範囲外においては、負荷容量を見直し必要箇所及び制御箇所は改修すること。 ・分電盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。 ・分電盤2次側において必要箇所には配線の敷設を行うこと。 ・電灯設備の監視及び制御は、必要に応じて、安全性及び保全性を考慮して、必要となる動作、警報表示等が行えるものとする。 ・建築工事にて改修範囲は、配線も含めて更新すること。 ・各室の機能を考慮し適切な照度の確保に配慮すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅区分を適正に設定し、こまめな消灯ができるよう配慮すること。また、人感センサー、昼光センサー制御やゾーンニング制御等により、照明による消費電力の低減を図ること。 ・照明器具は、諸室の用途と適性を考慮して、それぞれ適切な機器選定を行うとともに、維持管理の容易性にも配慮すること。 ・建築工事にて改修範囲外は、既設と同程度以上の機器更新（誘導灯、非常照明含む）すること。屋外灯も更新すること。
コンセント設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲は、配線も含めて更新すること。 ・部屋の用途及び目的に応じた取付位置、形式、数量及び容量とすること。 ・安全上考慮が必要な部分のコンセント等についてはカバー付き・鍵付き等配慮すること。
動力設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲の分電盤は、負荷容量を見直し更新すること。範囲外においては、負荷容量を見直し必要箇所は改修すること。 ・分電盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。 ・分電盤2次側において必要箇所には配線の敷設を行うこと。 ・負荷設備改修範囲は、配線を敷設すること。
電話設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲は、配線も含めて更新すること。 ・建物内各室に配管配線等を行う。 ・原則としてダイヤルイン方式とし、運営者の業務内容を想定した回線数とすること。 ・各諸室に必要な応じて電話機を設置すること。 ・建築工事にて改修範囲外は、機器の更新をすること。 ・市立短期大学（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセンター棟、（仮称）地域交流スクエア棟で相互通話が可能なものとすること。
インターホン設備	<ul style="list-style-type: none"> ・各諸室（2階部分）に、インターホン設備を設置し、事務室と相互通話可能とすること。
構内情報通信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・各諸室に必要な応じて情報コンセントを設置すること。 ・情報コンセント設置位置に予備配管も敷設すること。 ・フリーWi-Fi用の配管を敷設すること。 ・市立短期大学（本校舎）と（仮称）倉敷ファッションセンター棟間に光ケーブルを敷設すること。
テレビ共同受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ・各諸室に必要な応じてテレビ端子を設けること。 ・各端子盤内ケーブルテレビ対応、BS放送可能な増幅器を更新すること。
拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲は、配線も含めて更新すること。 ・中央監視設備機器（事務室）は更新すること。 ・市立短期大学（本校舎）、（仮称）倉敷ファッションセン

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<p>ター棟、(仮称) 地域交流スクエア棟で相互放送が可能なものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要箇所に音響設備を一般放送とは別に設置すること。 ・音響設備は、ワイヤレスアンプ、マイクシステムも含むものとし、プロジェクターと連動できるものとする。
誘導支援設備	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に配慮し各種誘導案内設備を設置すること。
入退室管理設備	<ul style="list-style-type: none"> ・大学機能部分に、カード認証等による開錠システムを設置すること。 ・必要箇所に入退室管理設備を設置すること。 ・入退室管理システムは、認証方式や運用方法も含めて、効率的かつ安全性の高いシステムとすること。 ・入退室管理設備の行先制御をエレベータで行うこと。 ・市立短期大学(本校舎)、(仮称) 倉敷ファッションセンター棟、(仮称) 地域交流スクエア棟で連動が可能なものとする。 ・事務室、市立短期大学(本校舎)、(仮称) 倉敷ファッションセンター棟、(仮称) 地域交流スクエア棟で相互に監視制御等が可能なものとする。
時計設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲は、配線も含めて撤去すること。
自動火災報知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事にて改修範囲は、配線も含めて更新すること。 ・中央監視設備機器(事務室)は更新すること。 ・(仮称) 倉敷ファッションセンター棟の状態監視を、市立短期大学(本校舎)、(仮称) 地域交流スクエア棟で可能なものとする。
中央監視設備	<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視設備(事務室)の機能は、市立短期大学(本校舎)、(仮称) 地域交流スクエア棟中央監視室にて監視すること。必要に応じて、制御を行えるよう配慮すること。
防犯カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・改修範囲の必要箇所にカメラ設備を設置すること。 ・1階の必要箇所にカメラ設備を設置すること。 ・画質はフルHD以上とすること。 ・事務室にモニター等を設置すること。 ・カメラは夜間でも監視及び録画を行う機能を有すること。 ・録画容量は2週間分以上とすること。 ・事務室、市立短期大学(本校舎)、(仮称) 地域交流スクエア棟で相互に監視制御等が可能なものとする。 ・機械警備用配管の設置を行うこと。
トイレ呼出設備	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレ、トイレ等に押しボタンを設け、異常があった場合、表示窓の点灯と警報音等により事務室、(仮称) 地域交流スクエア棟中央監視室に知らせること。
情報表示設備	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を必要箇所に設置すること。 ・プロジェクターは外光も考慮した、十分な明るさの機器とすること。
雷保護設備	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格や関連法令に従い、雷保護設備を設置する。 ・主要機器に対して内部雷保護対策を講じる。
空調設備	

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

空調設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の空調設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管・ダクトルートを選定やダンパー、弁類を設置すること。その他諸室の空調設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 諸室の空間・用途・目的に応じた空調システムを採用し、適切な室内環境を確保すること。 ・ ゾーニングや個別空調の考え方について、最適なシステムを計画すること。個室は個別空調を可能とするとともに、1 階事務室において集中管理可能な計画とすること。 ・ 空調設備は、環境配慮、保守性、更新性を総合的に考慮し高効率の機器を採用すること。 ・ 室各所で温度等のモニタリングや温度調整ができるよう配慮すること。 ・ 可能な限り、諸室の静音環境を保つような設備計画に努め、屋外機器の騒音、振動が室内に伝播しないよう配慮すること。 ・ 一般諸室の設計温湿度条件について、屋外温湿度は、「建築設備設計基準」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) 最新版に示された値のうち、本件施設用地の立地をふまえ適正な値を設定すること。屋内温湿度は、「建築設備設計基準・同要領」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) 最新版によるが、利用者の快適性を考慮した計画とすること。
換気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の換気設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、ダクトルートを選定やダンパー類を設置すること。その他諸室の換気設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 諸室の用途、目的に応じた換気システムを採用すること。 ・ 空気バランス、省エネルギー性能、環境性能、シックハウス対策に配慮すること。 ・ 可能な限り各諸室で制御できるものとするともに、1 階事務室にて集中管理可能な計画とすること。
排煙設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令に従って、必要に応じて設置すること。 ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の機械排煙設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、ダクトルートを選定やダンパー類を設置すること。その他諸室の排煙設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 機械排煙設備の撤去更新を原則とするが、改修に伴い、機械排煙設備が関係法令上不要となる場合は撤去すること。
給排水衛生設備	
給水設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の給水設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管の選定や弁類を設置すること。 ・ その他諸室の給水設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

排水設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の排水設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管の選定や弁類を設置すること。 その他諸室の排水設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 保守性、機能性に配慮すること。 ・ 汚水と雑排水は別系統で整備する。 ・ 必要に応じて、グリーストラップやプラスチックトラップ等の阻集器を設けること。阻集器は防臭蓋とし、床面の水や砂埃等が流入しない構造とすること。
給湯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の給湯設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管の選定や弁類を設置すること。 その他諸室の給湯設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 保守性、機能性、省エネ性、安全性に配慮すること。
衛生設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の衛生設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管の選定や弁類を設置すること。 その他諸室の衛生設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 機能性、節水性、清掃を含む保守性に配慮すること。 ・ 感染症対策に十分配慮し、非接触型を基本とした衛生器具を採用すること。 ・ 想定される建物利用者に応じて誰もが使いやすい器具を採用し、ユニバーサルデザインに配慮すること。 ・ 原則、大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・ 原則、小便器は低リップとすること。 ・ 原則、手洗いは自動水栓とすること。 ・ トイレ内の掃除道具入れには掃除用流しを設置すること。
ガス設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲のガス設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管の選定や弁類を設置すること。 その他諸室のガス設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。
消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 から 4 階の建築工事にて改修範囲の消火設備は撤去更新し、保守性に配慮した機器類、配管の選定や弁類を設置すること。 その他諸室の消火設備改修範囲については、「3. 各諸室の要求水準」に示す。 ・ 消火用充水槽を撤去更新すること。その周辺の配管・弁類も撤去更新し、保守性に配慮した配管ルートを選定や弁類を設置すること。 ・ 原則として、消火器ボックスは、壁埋め込み方式とするこ

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	と。
その他の長寿命化改修	
外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁仕上の劣化状況を確認し、適切な修繕方法とすること（想定改修面積は調査面積の5%とする）。 ・サッシ周り及び目地部分のシーリングを更新する計画とすること。
昇降機改修	<ul style="list-style-type: none"> ・既存昇降機（2基）の更新を行う。 ・ストレッチャーや什器類の搬入等にも配慮すること。 ・高齢者、車椅子使用者に対応すること。 ・警報装置を設置すること。 ・地震管制、火災管制、停電時自動着床機能を有すること。 ・省エネ機能の採用に努めること。 ・入退室管理設備の行先制御を行うこと。セキュリティの計画に基づき、必要な機能を付加すること。 ・開口部より中が視認できる構造とすること。
窓ガラス更新	<ul style="list-style-type: none"> ・外窓のガラスを、断熱性・遮熱性や日射の遮蔽・反射による空調負荷の低減に資するものに交換すること。（既存ガラス フロートガラス 厚5mm）
動線計画	
外部動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場部分の改修内容については、別紙4 外構施設整備計画要領による。 ・敷地西側の市道「児島駅前19号線」沿いの建造物を一部撤去し、市立短期大学（本校舎）へのアクセス向上を図ること。（詳細は別紙4参照） ・上記に伴い、門扉等も適宜計画すること。
内部動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・異種用途での適切な動線となるよう計画すること。
サイン計画	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁に設置された館名サインを撤去し、新設すること。 ・用途、動線の変更に伴いサインの見直しを行い、必要に応じてサインの新設、改修を行うこと。 ・障がい者や子ども、高齢者、外国人など全ての人に配慮したユニバーサルなサインとすること。 ・わかりやすく、視認性に優れたサインとすること。 ・将来において、諸室の配置が変更となった場合にも容易に対応可能なサインとすること。 ・エントランスには施設案内を設けること。 ・施設の総合案内、階平面、室名等が容易に分かるよう、適切に内外部のサインを設置すること。 ・外部サイン（字体等を含む）のデザインは、敷地内及び周辺地域の景観に配慮したものとし、複合施設全体で統一されたデザインとすること。 ・必要に応じて、サインは多言語対応とすること。 ・必要に応じて、JIS規格に準拠したピクトサインを活用したものとすること。
市立短期大学（本校舎）との連携	
通路	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）倉敷ファッションセンター棟と複合施設敷地の間

別紙3 （仮称）倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領（令和6年7月1日修正版）

	<p>の市道「児島駅前19号線」に電気・通信のための埋設管を敷設すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の切り下げや舗装の現況復旧、埋設管の敷設等、道路に係る整備に関して、関係諸機関との協議に基づいて行うこと（敷地外工事を含む）。
内部改修	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設から南側市道「児島駅前24号線」の民話通りへのアクセス向上のため、コワーキングスペースを改修し、出入りを行い易いよう計画すること。

3. 各諸室の要求水準

（仮称）倉敷ファッションセンター棟における各諸室の計画内容は、次のとおりである。なお、各諸室に設置する什器、設備などは以下に示すもののほか、

「【別表03】（仮称）倉敷ファッションセンター棟」を参照し、設置すること。

なお、存置する部屋で本章にて要求水準が示されない室は、原則、既存のままとする。

（1）ファッションセンター

事務室（既存）	
用途	事務室
規模	－m ²
設置数	1室（既存をそのまま利用）
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上は既存のままとする。 ・防災盤の改修に伴う内装改修を行うこと。 ・出入口付近に受付カウンターを設けること。 ・ホール側に掲示板を設けること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・改修時、居ながら利用する部屋。 ・当室の改修時は事務室業務を他の部屋で行うが、時期や期間は協議による。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視設備の更新を行うこと。 ・受付カウンターにコンセント回路（100V）の増設を行うこと。

応接室（既存）	
用途	倉敷ファッションセンター応接室
規模	－m ²

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

設置数	1室(既存をそのまま利用)
諸室仕様	・内部仕上は既存のままとする。
他室との関係	・改修時、居ながら利用する部屋。 ・当室の改修時は事務室業務を他の部屋で行うが、時期や期間は協議による。
建築設備要件	-

ファッションギャラリー (既存)	
用途	貸室
規模	- m ²
設置数	1室(既存をそのまま利用)
諸室仕様	・内部仕上は原則、既存のままとする。 ・床フローリングはサンダー掛けの上、再塗装とする。 ・室内の自立壁の撤去を行うこと。 ・室内の展示用スライディングウォールの更新を行うこと。
他室との関係	-
建築設備要件	・コンセント回路(200V)の増設を行うこと。 ・換気設備は撤去更新すること。1階天井内の既設ダクトは劣化状況、空調負荷、換気量等を確認し、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用(機器、ダンパー類は更新)しても良い。

コワーキングスペース (既存)	
用途	コワーキングスペース
規模	- m ²
設置数	1室(既存をそのまま利用)
諸室仕様	・内部仕上は原則、既存のままとする。 ・風除室及び外部建具は撤去し、外部とのより一体的な利用が期待できる建具を新設すること。
他室との関係	-
建築設備要件	・空調設備は撤去更新(機器、配管類とも)すること。 ・換気設備は撤去更新すること。1階天井内の既設ダクトは劣化状況、空調負荷、換気量等を確認し、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用(機器、ダンパー類は更新)しても良い。

1階倉庫	
用途	倉庫(消耗品、及び什器の収納)
規模	約24 m ²
設置数	1室

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

諸室仕様	・ 1階、C-D/3-4間にある、男子WCと女子WCの内部仕上、機器、及び、雑壁を適宜撤去し、倉庫に改修する。
他室との関係	・ 改修時、便所を居ながら利用する部屋。 ・ 当室の改修の時期や期間は協議による。
建築設備要件	・ 建築工事にて改修範囲の不要管は撤去し、適切に末端処理を行うこと。 ・ 換気設備は撤去更新（機器、ダクト類とも）すること。

機械室（既存）	
用途	機械室（繊維物性室の空調機械室（恒温恒湿用））
規模	－m ²
設置数	1室（既存をそのまま利用）
諸室仕様	・ 内部仕上、機器は、既存のままとする。
他室との関係	・ 改修時、居ながら利用する部屋。 ・ 工事の関係により利用できない期間が生じる場合、時期や期間は協議による。
建築設備要件	－

繊維資材室（既存）	
用途	実験室・倉庫
規模	－m ²
設置数	1室（既存をそのまま利用）
諸室仕様	・ 内部仕上、機器は、既存のままとする。
他室との関係	・ 改修時、居ながら利用する部屋。 ・ 工事の関係により利用できない期間が生じる場合、時期や期間は協議による。
建築設備要件	－

繊維物性室（恒温恒湿室）、機器分析室、染色化学室（各既存）	
用途	実験室
規模	－m ²
設置数	各1室（既存をそのまま利用）
諸室仕様	・ 内部仕上、機器は、既存のままとする。
他室との関係	・ 改修時、居ながら利用する部屋。 ・ 工事の関係により利用できない期間が生じる場合、時期や期間は協議による。
建築設備要件	－

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

(2) 短期大学

実験用倉庫	
用途	倉庫
規模	約 20 m ²
設置数	3 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維技術センターでの実験で使う試験材料製作のための器具、消耗品を収納する倉庫。 ・窓にはカーテンを設置すること。 ・器具や消耗品を収納する戸棚や、試験材料を製作するための作業台を設置するスペース。
他室との関係	－
建築設備要件	－

図工室 (大)	
用途	作品の製作、保管
規模	約 135 m ²
設置数	3 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・授業机 (コンセント付、IH使用) として、以下の什器を設置可能とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦教師用実習机 (教室前方) × 1 台 (幅3.6m×奥行0.9m) ◦作業机 × 9 台 (6人掛 幅1.8m×奥行0.9m) ◦作業用伸縮机 × 3 台 (4人掛 幅1.2m× 奥行0.9m) ・作品の制作に配慮して、汚れにくく清掃しやすい床及び壁仕上げとすること。また、換気にも十分配慮した計画とすること。 ・作品を搬出入するための、高さ2.0m、有効間口1.8m以上の、扉を設けること。中の様子が確認できる窓付きとすること。 ・白板 (レバーハンドル等により 1 枚のホワイトボードを好きな高さに調整できるタイプ。以下、スライダー式と称す。) を前方 1 か所に設ける。白板はプロジェクターを投影可能なタイプとし、大きさはプロジェクターを映写している状態で、授業に十分は余白を有していること。 ・後方の壁面は作品等掲示板とすること。上部にはピクチャーレールを設けること。作品掲示板の一部は壁材質を穴あきパーチクルボードとする。(範囲は協議による) ・1面の壁は、壁面に沿って適宜収納棚 (高さ0.8m程度、2

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<p>段) を設けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の廊下側壁面はスチールラック設置スペースとし、壁面は作品等掲示板とすること。上部にはピクチャーレールを設けること。 ・廊下にも掲示板(幅1.8m、高さ1.2m程度、ピクチャーレールを設けること。 ・絵の具等の利用を考慮し、詰まりにくい仕様のシンク(幅1.7m×高さ0.8m程度、シンク幅1.3m×奥行0.4m×深さ0.2m)2台を設置すること。各シンク水栓3つ程度(温水)とし、水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 プラスタートラップ等の排水トラップを設置し、清掃しやすい位置・構造とする。 ・掃除用具入れを設置すること。 ・作品保管用に以下のスチールラックを図工室(大)または倉庫(図工室大)に設置するスペース。なお、以下のラックは移設を予定しているが、室計画により、そのままの形状では移設が難しい場合、同程度の保管スペースを有する備品を作りつけても良い。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品保管スチールラック × 5 台 (幅0.88m×奥行0.4m×高さ1.76m) ・道具保管スチールラック × 1 台 (幅0.88m×奥行0.4m×高さ1.76m) ・道具保管スチールラック × 1 台 (幅0.46m×奥行0.52m×高さ1.79m) ・製作音が他の教室での授業の支障とならない、他の階での活動の妨げとならない程度の遮音性を有していること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫(図工室大)と隣接していること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・音響スピーカー及びスピーカー接続盤を設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。 ・配線ダクト(配線ダクト用スポットライト×6個程度、配線ダクト用コンセント×6個程度)を設置すること。作品の吊り下げが可能な強度を有していること。

倉庫(図工室大)	
用途	作品、画材等の倉庫
規模	約 25 m ²
設置数	3 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・作品保管の部屋。 ・作品を搬出入するための、高さ2.0m、有効間口1.8m以上の、

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<p>扉を設けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品保管庫として、以下の家具を設置すること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦作品収納棚 (高さ1.8m、3段程度) ◦画材保管棚 (幅1.5m×奥行0.5m×高さ1.8m程度)
他室との関係	・図工室(大)と隣接していること。
建築設備要件	－

図工室(中)	
用途	ミシンを使用しての作品製作等
規模	約 140 m ²
設置数	3階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用の机として、以下の什器を設置可能とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦教師用作業机(教室前方) × 1台 (幅4.2m×奥行0.9m 収納、コンセント付) ◦トレース台(教室前方) × 2台 (幅2.2m×奥行0.77m) ◦保管庫(教室前方) × 3台 (幅1.8m程度) ◦作業机 × 12台 (2人掛固定式 幅1.82m×奥行0.92m コンセント付) ◦作業机 × 1台 (2人掛移動式 幅1.82m×奥行0.92m コンセント付) 上記の合計でミシン、アイロン 26台を使用する。 ・作品の制作に配慮して、汚れにくく清掃しやすく、明るい色合いの床及び壁仕上げとすること。また、換気にも十分配慮した計画とすること。 ・作品を搬出入するための、高さ2.0m、有効間口1.8m以上の、扉を設けること。 ・白板(スライダー式)を前方1か所に設ける。白板の大きさはプロジェクターが投影可能なタイプとし、授業に十分な余白を有していること。 ・壁面に沿って適宜収納棚(高さ0.8m、2段)を設置すること。長さは計画上可能な限りの長さとする。棚上にはコンセントを設けること。(アイロン6台程度使用) ・布収納棚(幅4m程度×高さ天井まで 0.5mごとに立板を設けること)を図工室(中)または倉庫撮影室に設置すること。 ・廊下側に掲示板、ピクチャーレールを設けること。 ・流し(幅1.5m程度 バケツ等入る深いもの)を設置すること。水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。プラスタートラップ等の排水トラップを設置

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<p>し、清掃しやすい位置・構造とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除用具入れを設けること。 ・製作音が他の教室での授業の支障とならない、他の階での活動の妨げとならない程度の遮音性を有していること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影室と隣接していること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・プロジェクターを投影するための電動スクリーンを及びスクリーンボックスを設置すること。 ・音響スピーカー及びスピーカー接続盤を設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

撮影室	
用途	撮影ブース置場
規模	約 30 m ²
設置数	3階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影用スペース（3 m×5 m程度 配線ダクト共）を設けること。 ・試着ブース（壁面鏡高さ2 mとし、カーテンレールとひな壇を設けること。女子用3 m×1 m、男子用1 m×1.2 m程度）を設けること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・図工室（中）と隣接していること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影スペースに配線ダクト（配線ダクト用スポットライト×4個程度、配線ダクト用コンセント×2個程度）を設置すること。

暗室	
用途	暗室作業（シルクスクリーン製版等）
規模	約 8 m ²
設置数	3階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・既存躯体・仕上げは原則として存置し、床、壁、天井は美装すること。家具什器は全て撤去し、新設すること。 ・製版作業に適した照明を入れる。廊下側には作業中を示す表示灯を設ける。 ・2槽シンク（幅1.2 m×高さ0.8 m程度、シンク幅0.55 m×奥行0.55 m深さ0.13 m下部収納付）を設置すること。 ・作業台（幅1.8 m程度×奥行0.75 m×高さ0.8 m程度）をコンセント付近に設置すること。 ・水栓器具はレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。 ・扉の内側に暗幕を設けること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

他室との関係	-
建築設備要件	-

コンピュータ室 (小)	
用途	情報授業、自習
規模	約 55 m ²
設置数	3 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の備品等を設置することができること。 <ul style="list-style-type: none"> ▫講義台 (スピーカー付) ▫教師用机×1 台 ▫教師用 P C×1 台 ▫プロッター (教師用机付近) ▫デジタイザー (教師用机付近) ▫大型スキャナー (教師用机付近) ▫学生用机×15 台 ▫学生用椅子×15 台 ▫学生用 P C×15 台 ▫プリンター (台数は協議による) ▫プロッター (台数は協議による) ▫サーバラック ▫ソフト・備品収納庫 ・白板 (上下式) を前方 1 か所に設ける。 ・ロールスクリーンを設けること。 ・入口に、土足を脱ぐエリアを設け、適切な床材とし、下駄箱 (20 人分、上下 2 段収納式) を室内に設置すること。(利用時は上履きに履き替える。)
他室との関係	-
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター設備を設置すること。 ・電動スクリーンを設置すること。 ・部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

3 階倉庫	
用途	倉庫
規模	約 20 m ²
設置数	3 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ室 (小) ほか 3 階の諸室で用いる、機材、消耗品を収納するための棚を設置するスペースを設けること。
他室との関係	-
建築設備要件	-

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

音楽室	
用途	音楽室、演奏会等
規模	約 115 m ²
設置数	4 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室前方は舞台としても利用可能な空間とすること。 <ul style="list-style-type: none"> ▫ 小規模演奏会、音楽劇などの利用を想定。 ▫ プロセニウム幕（引分幕）等を設置すること。 ▫ ひな壇不要。 ▫ 既存グランドピアノ（備品）が設置可能なスペースを設けること。 ・ アップライトピアノ（備品）設置スペースを設けること。 ・ 1 面の壁に姿見の鏡（幅 4 m 以上×高さ 1.8m 程度、カーテン付）を設けること。 ・ 壁と天井は音楽室としての利用に適切な仕様・形状とすること。床は、フローリング床とすること。 ・ 親子交流広場（くらっこ）の参加者が来室して演奏など鑑賞する場合がある。これらに配慮し、エントランスからの来訪者動線がシンプルとなり、学生動線や管理諸室と不必要に交錯しない位置に配置すること。ベビーカーの移動に支障がない（段差がない）こと。また、内装・家具の材料の選定や、角部の処理は、児童や園児の安全に配慮したものとする。 ・ 入口に、土足を脱ぐエリアを設け、適切な床材とし、下駄箱（60人分、上下 2 段収納式）を室内に設置すること。（利用時は上履きに履き替える。） ・ 外部からの騒音が授業の支障とならない、また、音楽劇、演奏会などの音が、他の階や外部での活動の妨げとならない、遮音性を有していること。
他室との関係	－
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター設備を設置すること。 ・ 音響ワゴン卓（ワイヤレスマイク、BD 含む）を設置すること。 ・ 音響スピーカーとして壁面にスピーカーを設置すること。 ・ 配線ダクト（スポットライト）を設置すること。 ・ 部屋用途に応じた負荷容量を見込むこと。

ピアノ練習室	
用途	ピアノの個人練習

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

規模	約 180 m ² 程度を目安とし、提案による。
設置数	4 階に 25 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各室 5 m²程度の個室練習室を設ける。(既存ピアノ移設)(利用者は上履きに履き替える。) ・ 扉は中の様子が確認できる窓付きとすること。 ・ 隣接するブースの練習を著しく妨げない程度の防音性を有していること。 ・ 近接する教員研究室、部室・学生会室の活動に著しく支障が生じない、他の階の授業他の活動の妨げとならない程度の防音性を有していること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

倉庫 (K F C 4 階西)	
用途	音楽室及び保育学科教材の倉庫
規模	約 50 m ²
設置数	4 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器を搬出入するための、適切な大きさの扉を設けること。 ・ 以下の移設品の棚を設置するスペースを、倉庫 (K F C 4 階西) または倉庫 (K F C 4 階東) に確保すること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 書庫 (幅 2 m × 高さ 0.9 m) × 6 台 ◦ 楽器収納棚 (幅 2 m × 高さ 0.8 m) × 6 台 ◦ 楽器倉庫 (鍵付き戸棚) ・ 楽器の保管に適した換気機能を有していること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

倉庫 (K F C 4 階東)	
用途	音楽室及び保育学科教材の倉庫
規模	約 35 m ²
設置数	4 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器を搬出入するための、適切な大きさの扉を設けること。 ・ 以下の棚を倉庫 (K F C 4 階東) に設置すること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ キーボード 20 台が収納できる種 ・ 以下の棚を倉庫 (K F C 4 階西) または倉庫 (K F C 4 階東) に設置すること。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 書庫 (幅 2 m × 高さ 0.9 m) × 6 台 ◦ 楽器収納棚 (幅 2 m × 高さ 0.8 m) × 6 台 ◦ 楽器倉庫 (鍵付き戸棚)

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・全身姿見を設けること。 ・楽器の保管に適した換気機能を有していること。 ・シンク (幅0.8m程度 楽器が入る深さ) を設けること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

音楽倉庫 (K F C 4階)	
用途	音楽室の備品、書籍、楽器などを保管する倉庫
規模	約 25 m ²
設置数	4階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の保管に適した換気機能を有していること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

部室・学生会室	
用途	学生会、サークルの利用する部屋 (会議)
規模	約 50 m ²
設置数	4階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下から、内部が見えるようにすること。 ・廊下に掲示板を設置すること。 ・畳コーナー (四畳半程度) を設けること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

教員用研究室	
用途	教員研究室
規模	約 15 m ²
設置数	3階2室、4階3室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究・授業準備に用いるシンプルな部屋 ・3階の2室及び4階の1室は服飾美術学科、4階の2室は服飾美術保育学科にて使用する。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・研究室外から室内の様子がわかるようにすること。ただし、必要に応じてロールスクリーンなどによりプライバシーが確保できるようにすること。 ・研究に用いる、機器や書棚を設置可能とすること。 ・研究で使用する機材 (パソコン、プリンター等) を想定した設備とすること。 ・廊下側壁に、掲示板を設置すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾美術学科の研究室のみに、手洗いを設けること。 ・研究活動に支障がない程度の遮音性を有すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

(3) 憩の家

大多目的室	
用途	集会、音楽会、体操等
規模	約 132 m ² (大集会室用物入を含む)
設置数	2階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある空間とすること。 ・床はスポーツ系の利用も想定したフローリングとし、重量衝撃にも配慮すること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・自然光を調整できるよう窓はカーテンレールをダブルとし、カーテンはレースと日射調整用の2重とすること。 ・ステージ(跳ね上げ式、奥行2m程度。)を設置すること。ステージ高さは昇降が行いやすいよう配慮すること。また、ステージの袖に、控え用の場所を確保すること。 ・内装には木材または木目調の材料を活用し、温かみのある空間とすること。 ・可動間仕切を設け、2室として利用可能な仕様とすること。 ・廊下側に掲示板を設けること。 ・1面に姿見の鏡(高さ1.8m程度、カーテン付)を設けること。 ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・大集会室用物入(約15m²)を室に面して設置すること。 ・入口に、土足を脱ぐエリアを設け、適切な床材とし、60足以上の靴箱(上下二段収納式)を室内に設置すること。車いすでの移動に支障がないこと。 ・隣室や階下等の他室や外部へのカラオケ等による音の影響がないよう、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性を確保すること。
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・音響ワゴン卓(ワイヤレスマイク、BD含む)を設置すること。 ・音響スピーカーとして壁面にスピーカーを設置すること。 ・カラオケや体操を行うために必要な照度を確保すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	・カラオケを行えるよう接続環境を整えること。
--	------------------------

多目的室1	
用途	集会、音楽会、会議等
規模	約 66 m ² (集会室用物入を含む)
設置数	2階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある空間とすること。 ・床は土足利用を想定し、材料を選定すること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・自然光を調整できるよう窓はカーテンレールをダブルとし、カーテンはレースと日射調整用の2重とすること。 ・内装には木材または木目調の材料を活用し、温かみのある空間とすること。 ・廊下側に掲示板を設けること。 ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・集会室用物入 (約 8 m²) を室に面して設置すること。 ・隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性を確保すること。
他室との関係	・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。
建築設備要件	・会議を行うために必要な照度を確保すること。

多目的室2	
用途	集会、音楽会、体操等
規模	約 66 m ² (集会室用物入を含む)
設置数	2階に1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある空間とすること。 ・床はスポーツ系の利用も想定したフローリングとし、重量衝撃にも配慮すること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・自然光を調整できるよう窓はカーテンレールをダブルとし、カーテンはレースと日射調整用の2重とすること。 ・内装には木材または木目調の材料を活用し、温かみのある空間とすること。 ・廊下側に掲示板を設けること。 ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・集会室用物入 (約 8 m²) を室に面して設置すること。 ・入口に、土足を脱ぐエリアを設け、適切な床材とし、30足以上の靴箱 (上下二段収納式) を室内に設置すること。車いすでの移動に支障がないこと。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	・隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性を確保すること。
他室との関係	・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。
建築設備要件	・体操を行うために必要な照度を確保すること。

湯沸室	
用途	利用者及び職員の給湯
規模	約 8 m ²
設置数	2 階に 1 室
諸室仕様	・既存躯体・仕上げは原則として存置し、床、壁、天井は美装すること。 ・廊下に面する扉は塗装改修すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

倉庫（倉庫 A 約 41 m ² 、倉庫 B 約 31 m ² 、倉庫 C 約 7 m ² ）	
用途	備品等の収納
規模	約 79 m ² 程度
設置数	3 室
諸室仕様	・既存躯体・仕上げは原則として存置し、床、壁、天井は美装すること。 ・壁の一面に物品棚を設けること。 ・廊下に面する扉は塗装改修すること。
他室との関係	－
建築設備要件	・換気設備は撤去更新すること。天井内の既設ダクトは劣化状況、換気量等を確認し、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用（機器、ダンパー類は更新）しても良い。

(4) 共用部

エントランスホール、風除室	
用途	ロビー
規模	－ m ²
設置数	1 室（既存をそのまま利用）
諸室仕様	・内部仕上は原則、既存のままとする。不要な掲示物・サインは撤去し、撤去跡を補修すること。 ・両風除室の自動扉は、更新すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	・案内板。
他室との関係	・ー
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを設置すること。 ・エントランスホールの空調・換気・排煙設備は撤去更新すること。1階天井内の既設ダクトは劣化状況、空調負荷、換気量等を確認し、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用（機器、ダンパー類は更新）しても良い。

1階エレベーターホール	
用途	エレベーターホール
規模	ー m ²
設置数	1室（既存をそのまま利用）
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上は原則、既存のままとする。不要な掲示物・サインは撤去し、撤去跡を補修すること。 ・7～8軸間については、複合施設のエントランスにふさわしい、明るく開放的なエリアとなるよう、適宜、内装改修を行うこと。改修範囲は提案による。 ・TEL台は撤去。 ・案内板を設けること。 ・セキュリティ範囲には機械警備用機器を設置すること。
他室との関係	・ー
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを設置すること。 ・エレベーターホールの空調・換気・排煙設備は撤去更新すること。1階天井内の既設ダクトは劣化状況、空調負荷、換気量等を確認し、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用（機器、ダンパー類は更新）しても良い。

1階トイレ（男・女・多）	
用途	便所
規模	ー m ²
設置数	1室（既存エリアを利用）
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・1階、A-C/8-9間にある、男子、女子、車いすWC、前室の内部仕上、機器、及び、雑壁を適宜撤去し、便所に改修する。 ・男性用、女性用、多目的便所を配置すること。便器等の数量は、利用者の内容（子ども、大人）や人数を考慮して設定すること。 ・1階の多目的トイレの便房内には、ベビーチェア、フィッティングボード、多目的シート、オストメイト用設備を設置すること。 ・防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・便所の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・手洗い場は、化粧品などの小物が置けるように配慮すること。 ・手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 ・小便器間に間仕切りを設置するなど、プライバシーに配慮すること。
他室との関係	—
建築設備要件	・機器、配管（ピット内も含む）ともに撤去更新とする。

消火ポンプ室	
用途	消火ポンプ室
規模	— m ²
設置数	1室（既存エリアを利用）
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上は原則、既存のままとする。 ・消火ポンプの更新に伴い必要な基礎等を設け、取合いの改修を行うこと。 ・ホールに通じる扉は塗装改修すること。
他室との関係	—
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・消火ポンプユニット、配管・弁類を撤去更新し、保守性に配慮した配管ルートを選定や弁類を設置すること。 ・機器更新により必要な場合は配線を更新すること。

2階エレベーターホール、廊下	
用途	エレベーターホール、廊下
規模	提案による
設置数	—
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・躯体を除く内部仕上、機器は原則、撤去する。 ・憩の家等のエントランスにふさわしい、明るくわかりやすい空間とすること。 ・エレベーターホールには案内板、掲示板を設置すること。 ・セキュリティ範囲には機械警備用機器を設置すること。 ・多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとする。 ・安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。 ・必要な場所に手すりを設けること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板（幅1.8m×高さ1.2m 程度）を適宜設置すること。 ・ 壁面にピクチャーレールを設けること。 ・ 円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。
他室との関係	－
建築設備要件	・ 防犯カメラを設置すること。

2階トイレ（男・女）	
用途	便所
規模	－ m ²
設置数	1室（既存エリアを利用）
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2階、A－C/8－9間にある、男子、女子WCの内部仕上、機器、及び、雑壁を適宜撤去し、便所に改修する。 ・ 男性用、女性用便所を配置すること。便器等の数量は、利用者の内容や人数を考慮して設定すること。 ・ 防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 ・ 衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。 ・ 大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・ 便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・ 手洗い場は、化粧品などの小物が置けるように配慮すること。 ・ 手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 ・ 小便器間に間仕切りを設置するなど、プライバシーに配慮すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

2階トイレ（多目的）	
用途	便所
規模	提案による
設置数	1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2階に多目的便所を配置すること。 ・ 便房内には、多目的シート、オストメイト用設備を設置すること。 ・ 防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 ・ 衛生機器はすべて自動水栓とする。 ・ 大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座を設置すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・手洗いや大便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

中多目的室	
用途	集会、音楽会、体操等
規模	約 110 m ² (物入を含む)
設置数	2 階に 1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感のある空間とすること。 ・床はスポーツ系の利用も想定したフローリングとし、重量衝撃にも配慮すること。 ・自然光を可能な限り確保すること。 ・自然光を調整できるよう窓はカーテンレールをダブルとし、カーテンはレースと日射調整用の 2 重とすること。 ・可動間仕切を設け、2 室として利用可能な仕様とすること。 ・廊下側に掲示板を設けること。 ・1 面に姿見の鏡 (高さ 1.8m 程度 カーテン付) を設けること。 ・壁面にピクチャーレールを設けること。 ・物入を設置すること。 ・入口に、土足を脱ぐエリアを設け、適切な床材とし、60 足以上の靴箱 (上下二段収納式) を室内に設置すること。車いすでの移動に支障がないこと。 ・隣室や階下等の他室や外部への音楽等による音の影響がないよう、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性を確保すること。
他室との関係	・隣接する諸室に、騒音・振動の影響が及びにくいようにすること。
建築設備要件	・体操を行うために必要な照度を確保すること。

2 階電気室、水槽室、2, 3, 4 階空調機械室、5 階 E L V 機械室	
用途	電気室、水槽室、空調機械室、機械室
規模	－ m ²
設置数	一室 (既存をそのまま利用)
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上は原則、既存のままとする。 ・機器の更新に伴い必要な基礎等を撤去新設し、取合いの改修を行うこと。 ・廊下に通じる扉は塗装改修すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

他室との関係	・ ー
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受変電設備、発電設備、電力貯蔵設備を更新すること。 ・ 水槽室の受水槽本体は劣化状況、必要容量、能力を確認し、必要に応じて、補修等の措置を講じたうえで再使用しても良い。加圧給水ポンプユニット及び配管・弁類は撤去更新すること。機器更新により必要な場合は配線を更新すること。また仮設が必要な場合は対応すること。 ・ 空調機械室の空調・換気設備は撤去更新とするが、方式の変更やダウンサイジング等により、更新不要となる設備は撤去のこと。

3, 4階エレベーターホール、廊下	
用途	エレベーターホール、廊下
規模	提案による
設置数	ー
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 躯体を除く内部仕上、機器は原則、撤去する。 ・ 市立短期大学のエントランスにふさわしい、明るく開放的な空間とすること。 ・ エレベーターホールには案内板、掲示板を設置すること。 ・ セキュリティ範囲には機械警備用機器を設置すること。 ・ 多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとする。 ・ 安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。 ・ 必要な場所に手すりを設けること。 ・ 掲示板(幅1.8m×高さ1.2m程度)を適宜設置すること。 ・ 壁面にピクチャーレールを設けること。 ・ 円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。
他室との関係	ー
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラを設置すること。 ・ 入退室管理設備を設置すること。

3, 4階トイレ(男・女)	
用途	便所
規模	ー m ²
設置数	1室(既存エリアを利用)
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4階、A-C/8-9間にある、男子、女子WCの内部仕上、機器、及び、雑壁を適宜撤去し、便所に改修する。 ・ 男性用便所、女性用便所を配置すること。便器等の数量は、利用者の内容(子ども、大人)や人数を考慮して設定すること。

別紙3 (仮称) 倉敷ファッションセンター棟複合化等改修計画要領 (令和6年7月1日修正版)

	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く）すること。 ・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・女性用便所には身だしなみを整えるスペースを設けること。 ・手洗い場は、化粧品などの小物が置けるように配慮すること。 ・手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。 ・小便器間に間仕切りを設置するなど、プライバシーに配慮すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－

3, 4階トイレ(多)	
用途	便所
規模	－m ²
設置数	各階1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・3, 4階に多目的便所を配置すること。 ・3階の多目的トイレには、多目的シート、オストメイト用設備を設置すること。 ・4階の多目的トイレには、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを設置すること。 ・防犯や非常時に対応できる設備等を整備すること。 ・衛生機器はすべて自動水栓とする。 ・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座を設置（幼児用除く）すること。 ・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。 ・手洗いや大便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。
他室との関係	－
建築設備要件	－